

2025年3月4日

保護者のみなさまへ

園田学園中学校・高等学校

校長 厚田 太加志

2024 年度学校教育診断保護者アンケート結果について

早春の候、保護者のみなさま方にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

2 学期末実施の「学校教育診断保護者アンケート」の結果についてご報告申し上げます。ご協力いただきました保護者のみなさま方には御礼申し上げますとともに、この結果をふまえて、保護者のみなさまにさらに満足していただける教育活動を教職員一丸となって展開してまいります。

1. 調査概要

調査目的：本校教育に関する保護者の方々の評価をふまえ、より良い教育を創造する。

実施日：2024年12月

対象：全校生の保護者

回収：83.8%（425名/507名）

2. 調査結果について

「A=よく当てはまる」「B=やや当てはまる」「C=あまり当てはまらない」「D=当てはまらない」の回答について、
「A+B=肯定的回答」「C+D=否定的回答」と表現し、80%以上を「多い」60%以下を「少ない」と表現しています。

(1) 肯定的な回答が多かった項目（36項目中 23項目） ※（ ）内は昨年度

・学校は、教育目標・教育方針をわかりやすく伝えている。	88.5%（88.5%）
・学校は、日頃の教育活動や教育内容の情報を積極的に伝えている。	89.2%（90.9%）
・学校は、子どもの安全や健康・衛生管理に努力している。	90.8%（93.7%）
・学校の教育環境は、施設・設備の面で満足できるものである。	94.4%（96.1%）
・学校は、家庭への連絡や意思疎通を行っている。	88.0%（90.6%）
・学校は、省エネや環境保護にしっかりと取り組んでいる。	83.6%（81.6%）
・学校は生徒の安全指導についてしっかり取り組んでいる。	89.4%（89.7%）
・本校を、知人や友人にすすめたいと思う。	82.0%（87.9%）
・子どもを本校に入学させて良かったと思う。	90.4%（87.9%）
・先生は、子どもの学力や能力・努力を適切・公平に評価している。	84.9%（86.8%）
・子どもは、学校に行くのが楽しいと言っている。	83.2%（83.5%）
・先生は、子どものことをよく理解してくれている。	80.1%（86.7%）
・先生は、子どものまちがった行動に対して厳しく指導してくれている。	82.4%（89.1%）

・学校の生活指導の方針(服装・頭髪・遅刻等の指導)に共感できる。	86.3%(82.3%)
・「日本の伝統文化の学び」の授業は意義がある。	93.1%(82.4%)
・学校行事の内容は充実していて、子どもは積極的に参加している。	88.9%(93.3%)
・学校は、保護者の願いに応えようと努力している。	83.2%(86.4%)
・学校での対応や、電話で話すときの教職員の対応は適切である。	92.2%(95.2%)
・学校は、地震や台風など非常時の対応を、子ども・家庭に適切に伝えている。	89.6%(94.8%)
・家庭では、子どもと学校のことでよく話をする。	85.4%(90.7%)
・家庭で、スマートフォンやタブレットなどの取り扱いや必要性などについてきちんと話合っている。	87.7%(87.5%)
・子どもは、情報モラルについて理解し、スマートフォンやタブレットなどを正しく利用している。	90.4%(85.5%)
・SFC(e-pa)を利用して、学校からのお知らせを確認したり、欠席や遅刻などの連絡をしている。	87.1%(89.6%)

(2) 肯定的な回答が少なかった項目(36項目中 2 項目)

・学校の HP をよく活用している。	59.8%(62.5%)
・育友会活動に参加しやすい。	51.8%(60.2%)

3. まとめと今後に向けて

肯定的な回答の多かった項目は 36項目中 23項目あります。一方、肯定的な回答が少なかった項目が2項目でした。肯定的な回答の多かった項目が半数以上あるものの、昨年度よりも数値として下がっている項目が多数あるということに目を向け、わたしたち教職員が課題としての認識を持つ必要があります。以下に述べます。

(1) 学習面に関する課題

「子どもは、学校の授業が楽しくわかりやすいと言っている」の肯定的回答が 64.8%、「子どもは、家庭でも学習にがんばって取り組んでいる」の肯定的回答が 71.3%という結果でした。生徒アンケートでは、「授業はわかりやすい」の肯定的回答が 74.6%、「先生は、学習内容を工夫し、ていねいに教えてくれている」の肯定的回答が 84.3%という結果でした。「工夫し、ていねいに」という項目については、昨年度よりも上昇したものの、他の項目についてはどれもやや減少している結果となりました。より一層の研鑽により「わかりやすい授業」の展開に努めるとともに、生徒が「より学びたいと感じられる授業」の展開に注力し、授業の研究と改善に取り組まなければならないと認識しております。

(2) 学校生活に関する課題

「子どもは学校に行くのが楽しいと言っている」が 83.2%、生徒アンケートにおける「学校に来るのが楽しい」は 78.4%とどちらも昨年度とほぼ変わらない結果となりました。一方で、保護者の方の「学校の生徒指導の方針に共感できる」の肯定的回答が86.3%と昨年度よりも上昇したのに対して、「先生は、子どもの間違った行動に対して厳しく指導してくれている。」が 82.4%、生徒アンケートの「学校生活について先生の指導は納得できる」についても肯定的回答が71.3%と肯定的回答は昨年度よりも減少しています。現在、教職員だけでなく、生徒も含めた校則の見直しを始めています。学校生活は、教職員と生徒、そして生徒同士の信頼関係で成り立っています。ともに考えていく中で、より納得して学校生活を送ることができるように進めていきます。

また、「学校は、子どもの安全や健康・衛生管理に努力している」では、肯定的回答が 90.8%あるものの、昨年度までよりも下がっています。このことは、年々進む気温上昇に伴う体育施設のあり方が一つの要因になっていると捉えており、重大な課題として認識し、改善していかなければならないと考えております。

(3) その他の課題

今年度よりSFC(e-pa)を活用して、保護者のみなさまへ様々な配信を行って参りました。活用に関して肯定的回答は87.1%(昨年度89.6%)でしたが、学校HPの活用に関して、肯定的回答が59.8%(昨年度62.5%)と「低い」数値でした。また、「育友会活動に参加しやすい」の肯定的回答も51.8%(昨年度60.2%)という数値になっています。学校の取り組み全般や生徒の活動をリアルタイムで在校生の保護者のみなさまにわかりやすく届ける工夫を今後も続けるとともに、育友会活動により多くの方に参加していただけるよう、役員の方と協力しながら、取り組んで参ります。

最後に

自由記述の意見欄には、学校に対する感謝や信頼のご意見も多くいただき、教職員の大きな励みとなりました。一方、厳しいご意見、緊急に解決すべき課題も寄せられました。こうしたご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動に活かし、生徒・保護者のみなさまにとってより充実した学校生活となるように全教職員で協議を重ね、改善して参ります。今後ともご理解、ご協力をお願い申し上げます。

以 上